



Mayors for Peace Newsletter

平和市長会議ニュースレター

編集・発行 平和市長会議事務局

2012年3月 第32号

第8回平和市長会議理事会を開催

2011年11月9日～10日、第8回平和市長会議理事会をスペイン・グラノラズ市で開催しました。会議では、2011年9月に加盟都市が5,000を超えたことが報告され、出席した役員都市の市長及び代表は、これまでの活動状況を確認するとともに、今後の取組について協議し、「核兵器廃絶の推進に関する決議文」と「最終コミュニケ」を採択しました。

あわせて、2020ビジョンキャンペーン協会運営委員会・役員会を開催し、今後の2020ビジョンキャンペーンの展開について協議しました。

◆理事会出席都市◆

- ・広島市（日本）・長崎市（日本）・グラノラズ市（スペイン）
- ・ビオグラード・ナ・モル市（クロアチア）・ハラブジャ市（イラク）
- ・ハノーバー市（ドイツ）・マラコフ市（フランス）
- ・マンチェスター市（英国）・ボルゴグラード市（ロシア）
- ・イーペル市（ベルギー）・フォンゴ・トンゴ市（カメルーン）



第8回平和市長会議理事会出席者

◆主な決定事項◆

- 1 「核兵器禁止条約」の交渉開始を求める加盟都市を挙げた市民署名活動を展開し、集めた署名を国連等に提出すること。
- 2 第8回平和市長会議総会の時期(2013年8月)に合わせ、各国政府関係者や専門家の集う高官レベルの会議が広島で開催されるよう、気運を高めること。
- 3 加盟都市5,000突破を記念した原爆被害の実態等に関するポスター展を開催すること。
- 4 国際的なNGOとの戦略的連携関係を強化・拡大すること。
- 5 「核兵器のない世界」の実現を促す要請文や声明文等を適宜必要な相手方に効果的に発信すること。
- 6 加盟都市が地域ごとにまとまり、地域のNGO等と連携しながら、自国政府が何をなすべきかを考え、自国政府に対し具体的行動を促す取組を推進すること。
- 7 NPT再検討会議(2015年)及びその準備委員会(2012年～2014年)に平和市長会議代表団を派遣し、アピール活動を展開すること。
- 8 「2020ビジョン」を支持する著名人やオピニオンリーダーを「2020ビジョンキャンペーン大使」として選任すること。



理事会の様子

また、以下の項目等について意見交換を行い、今後、特に財政基盤の強化に向け、検討委員会を設立することにし、ハノーバー市で初会合を開催することとしました。(2012年1月23日～25日にハノーバー市で開催された平和市長会議運営基盤強化のための検討委員会については次頁。)

- 1 理事会開催地を広島市と長崎市に固定すること
- 2 平和市長会議運営経費の負担のあり方
- 3 平和市長会議地域組織の設立と地域ごとの活動の役割分担

なお、この理事会の場において、広島県の「国際平和拠点ひろしま構想」の概要版の配付及び説明が行われ、2013年の総会において広島県から取組状況の説明を受けることが了承されました。

(理事会及び決定事項の詳細は、平和市長会議ウェブサイトをご参照ください。)

http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2011/111109_executive_conf/index.html

「核兵器のない世界を目指す国際フォーラム」に長崎市長が出席 (2011年10月12日～13日)

カザフスタン・アスタナ市で開催された「核兵器のない世界を目指す国際フォーラム」に田上長崎市長が出席し、「核兵器のない世界の実現」をテーマとした分科会Iで、スピーチしました。また、セメイ市(旧セミパラチンスク市)等を訪問しました。



「核兵器のない世界を目指す国際フォーラム」(分科会I)

スペイン国連協会から「第32回平和賞」を受賞

(2011年10月24日、授賞式は11月9日)

平和市長会議が、スペイン国連協会から「第32回平和賞」を受賞しました。

5000を超える自治体で構成する平和市長会議の大量破壊兵器の廃絶、特に核兵器の廃絶に関する分野での平和推進活動を評価していただきました。



「第32回平和賞」授賞式

11月9日、スペイン・バルセロナ県庁で行われた授賞式に松井広島市長とグラノラズ市長をはじめとする理事会出席者や近隣加盟都市の首長が出席し、受賞証書と副賞(賞金)を受領しました。

平和市長会議運営基盤強化のための検討委員会を開催 (2012年1月23日～25日)

ドイツ・ハノーバー市において、9か国9都市の代表が参加し、実務担当者による「平和市長会議運営基盤強化のための検討委員会」を開催しました。

検討委員会では、各出席者が平和市長会議の運営基盤強化の必要性を十分認識した上で、地域組織の設立とその役割、また、平和市長会議運営経費の負担のあり方について活発な議論を行いました。

今後は、検討委員会が出された意見を基に、適宜検討委員会参加都市と協議するなどして実現に向けた具体策を検討します。その後、今年5月のNPT再検討会議の第1回準備委員会に合わせ、オーストリア・ウィーン市に集まる加盟都市をメンバーとする会議に報告し、議論を深めたいと考えています。そして、2013年に広島で開催する総会で加盟都市の皆さんの合意が得られるよう、取組を進めていきます。



第1回平和市長会議 国内加盟都市会議を開催 (2012年1月13日～14日)

平和市長会議の国内における取組の充実を図るため、初めての国内加盟都市会議を広島市で開催しました。



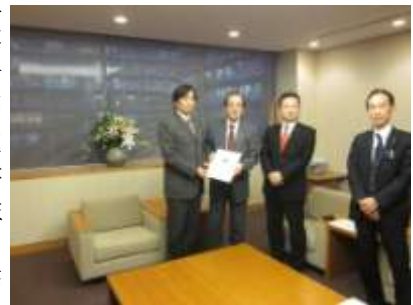
第1回国内加盟都市会議

会議には、全国から88自治体・131人(うち首長41人)が出席し、国内における平和市長会議の今後の取組などについて協議を行いました。会議では活発で中身の濃い議論が展開され、「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた日本政府に対する要請などを盛り込んだ「第1回平和市長会議国内加盟都市会議総括文書」を採択して閉会しました。

(会議の詳細および総括文書は、ウェブサイトをご参照ください。 <http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/jpmeeting/1st/index.html>)

「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める要請書を日本政府に提出 (2012年1月26日)

「第1回平和市長会議国内加盟都市会議総括文書」の決議に基づき、松井広島市長と神近長崎市東京事務所長が外務省で中野大臣政務官と面会し、「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進について野田佳彦内閣総理大臣宛ての要請書を提出しました。



中野外務大臣政務官は「日本政府は唯一の被爆国としてこれまで与野党を問わず、あらゆる機会を通じて核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け各国の首脳等に働きかけを行ってきた。今回の要請を受け、引き続き、核兵器廃絶に向け気持ちをしっかりと持ってやっていきたい。」と語りました。

左から中野大臣政務官、松井市長、橋本衆議院議員、神近長崎市東京事務所長

加盟自治体の取組から ～事務局に寄せられた各地の取組～

世界の加盟都市において、平和への取組が実施されています。2011年10月以降に寄せられた取組事例の一部をご紹介します。

■神奈川県藤沢市：広島平和の灯 点灯式・表彰式（10月1日）

藤沢市では、平和への強い願いを市民とともに未来へ継承していくために、市民からデザインを公募した「平和の灯モニュメント」を設置し、広島平和記念公園の「平和の灯」から採火した火を核兵器廃絶と恒久平和の願いを込めて灯し続けています。

点灯式・表彰式の当日は、市長をはじめ、平和の灯モニュメントデザイン入賞者、親子記者・広島派遣事業参加者、平和の輪をひろげる実行委員会委員等が式典に参加しました。

■滋賀県草津市：草津市平和祈念フォーラムの開催（10月15日）、「平和の鐘」の建立（12月8日）

人権尊重と恒久平和の願いを後世に引き継ぐことを目的に開催された同フォーラムでは、小・中学生による平和メッセージの発表の後、黙祷で戦没者と東日本大震災で亡くなられた方の冥福を祈りました。更に平和コンサートに続いて、(公財)広島平和文化センターのスティーブ・リーパー理事長が「核兵器のない平和な世界をめざすために」と題して講演しました。

また核兵器と戦争のない世界の恒久平和を願い、その願いを次の世代に引き継ぐために、ロクハ公園内の平和祈念モニュメント横に「平和の鐘」が建立されました。太平洋戦争開戦から70年目を迎えた12月8日に除幕式が実施され、不戦の誓いを新たにしました。

■オーストラリア ケアンズ市：「ウォー・イン・プロフィール（戦争の側面）」展示オープニング及び公開フォーラム（10月21日開催。展示は10月14日～11月16日。）

ケアンズ市では、オーストラリア初の広島・長崎原爆展の内容を含む、戦争の様々な側面を扱った展示が開催され、あわせて被爆体験証言や、公開フォーラムが実施されました。



同展パンフレット

■京都府京都市：京都市平和祈念事業（11月3日）

平和の尊さを市民の皆様と見つめ直すとともに、異文化理解、多文化共生の促進を通じて世界平和の実現に寄与することを目的として開催された同事業では、舞台女優・声優として活躍されている堀絢子さんが、「戦争の非人間性を訴える」ひとり芝居『朝ちゃん』を演じました。原爆投下翌日の瓦礫の街となった広島で、原爆の被害にあった朝ちゃんを友達の秋ちゃんが発見し、朝ちゃんのお母さん・お兄さんと必死に助けようとする。原爆の恐ろしさ、戦争の悲しさを語り継いでいく物語です。

■東京都武蔵野市：「武蔵野市平和の日条例」制定及び記念イベント（11月24日）

武蔵野市では、2011年9月に「武蔵野市平和の日条例」を制定しました。太平洋戦争中の昭和19年、米軍から同市が初空襲を受けた11月24日を「武蔵野市平和の日」とし、広く市民にとって、平和について考える機会としています。この平和の日制定を記念して、11月24日、「ピースむさしの 未来をひらくつどい」や、武蔵野の空襲に関するパネル展示、長崎市から贈呈された被爆クスノキ2世と、市民の木であるハナミズキの苗を植樹するなどの平和イベントを開催しました。

■アイスランド グリンダヴィーク町：平和と連帯の意識を高めるピースマーチの開催（12月16日）

地域で平和と連帯の意識を高める例として、年1回のピースマーチが開催されました。人口2,800人の町ですが、1,000人以上がマーチに参加し、地域の幼稚園、小学校、音楽学校の学生と教師、保護者が闇の中で懐中電灯を手と一緒に歩きました。ピースマーチの目的は、地域における平和、連帯、前向きな心、喜び、愛を高めることです。参加者は集まって、牧師による平和に関する挨拶を聞き(写真)、クリスマスキャロルを皆で歌いました。



■東京都西東京市「非核・平和都市宣言10周年記念シンポジウム」の開催（2012年2月26日）

同シンポジウムでは、「西東京市地域の空襲について」と題した牛田守彦氏（法政大学中学高等学校教諭・武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会副代表）による基調講演や、「武蔵野地域の空襲から、これからの非核・平和を考える」と題したパネルディスカッションが行われました。

その他、大阪府豊中市から同市ホームページ内への平和市長会議ページの設置、北海道帯広市から2012年平和カレンダーの作成・配布、静岡県焼津市から第3回焼津平和賞推薦公募開始、フランスフォンテーヌ市から、広島ジュニアマリンバアンサンブルのコンサート開催についての情報が寄せられました。

● 最近の主なトピック(2011年10月～2012年2月) ●

- ・2011.10.1～25 ラテンアメリカ・カリブ海地域加盟都市意識調査を実施。
- ・10.12～13 「核兵器のない世界を目指す国際フォーラム」(カザフスタン アスタナ市)に長崎市長及びイーペル市・2020ビジョンキャンペーン事務局代表等が参加。
- ・10.15 核軍縮議員ネットワーク(PNND)の会議(スイス ベルン市)で、2020ビジョンキャンペーンを積極的に推進しているバーゼル市長が平和市長会議に関する基調講演を行う。
- ・10.24 モンテビデオ市(ウルグアイ)が理事都市に就任。
- ・10.24 スペイン国連協会から「第32回平和賞」を受賞(授賞式は11月9日)。
- ・10.28 「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い(広島市)に、広島市長が出席。広島県生活協同組合連合会から「核兵器禁止条約」の早期実現を求める署名約14万筆を受領。
- ・11.8 2020ビジョンキャンペーン協会運営委員会・役員会(スペイン グラノラズ市)を開催。
- ・11.9～10 第8回平和市長会議理事会を開催(スペイン グラノラズ市)。
- ・12.1 南スーダンから首都ジュバの初加盟により、加盟都市のある国・地域が152か国・地域に拡大。
- ・2012.1.1 ジブチから首都ジブチの初加盟により、加盟都市のある国・地域が153か国・地域に拡大。
- ・1.6、1.10 米国が2011年9月及び11月に実施した新しいタイプの核実験に対し、役員都市市長の連名による抗議文を送付。
- ・1.13～14 第1回国内加盟都市会議を開催(広島市)。
- ・1.18～20 全米市長会議冬季会議に平和市長会議代表が参加(米国 ワシントンDC)。
- ・1.23～25 平和市長会議運営基盤強化のための検討委員会を開催(ドイツ ハノーバー市)。
- ・1.26 「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める要請書を日本政府に提出。
- ・2.14～15 OPANAL(ラテンアメリカ・カリブ海核兵器禁止機構)非核地帯セミナーに平和市長会議代表が参加(メキシコ市)。

加盟都市数(2012年3月1日現在)
～153か国・地域 5,136都市に～

皆様の多大なる御協力により、平和市長会議の加盟都市数は、3月1日現在で153か国・地域の5,136自治体に達しました。そのうち日本国内では10月以降、50自治体が新たに加盟し(合併で1減)、計1,105自治体となりました。

海外では、12月に南スーダンの首都ジュバが、また1月にジブチの首都ジブチが初加盟したことにより、加盟都市のある国・地域が153か国・地域に広がりました。またオーストリア、イタリア、ブラジルなどで多くの自治体が新たに加盟しました。

核兵器廃絶に向けた都市連帯の輪の拡大に多大な御協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

平和市長会議加盟都市数(2012年3月1日現在)

地域名	国・地域	加盟都市数
アジア	30か国・地域	1,549都市
オセアニア	9か国・地域	127都市
アフリカ	42か国・地域	329都市
ヨーロッパ	45か国	2,336都市
北アメリカ	3か国・地域	288都市
ラテンアメリカ・カリブ海地域	24か国・地域	507都市
計	153か国・地域	5,136都市

新たな理事都市

2011年10月24日付で**モンテビデオ市(ウルグアイ)**が新たに理事都市に加わり、会長・副会長とあわせ役員都市が18都市となりました。

◎ **お知らせとお願い** ◎

- 事務局ではEメールを利用した加盟都市相互の情報交換や事務局からの連絡等のため、各都市のメールアドレスを整理しています。メールアドレスの新規登録・変更、市長の交代等がありましたら是非とも事務局へご連絡下さい。

2020ビジョンキャンペーン支援のための寄附金募集

平和市長会議では2020ビジョンキャンペーンの活動支援のための寄附を募集しています。皆様方のご協力をお願いいたします。

【受入口座】

銀行名: 広島銀行本店営業部
口座番号: 普通預金 1091331
口座名義: 公益財団法人 広島平和文化センター
会長 松井 一貫

平和市長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5
(公財)広島平和文化センター平和連帯推進課内
Tel:082-242-7821 Fax:082-242-7452
E-mail: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp
URL: http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html